

# 英語科学習指導案

令和元年10月30日(水)

授業場所：6年 教室

6年

## 授業の視点

小学校の思い出やその理由を伝え合う場面において、ジェスチャーや表情、受け止め言葉（あいづち、くり返し）を意識的に使うことで、より生き生きとしたやり取りになるであろう

### 1 単元 小学校の思い出を伝えよう (My best Memory)

#### 2 単元設定の理由

##### (1) 教材観

本単元は、新学習指導要領の目標「(3) 話すこと〔やり取り〕イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする」および、伊勢崎式小中一貫英語力向上プログラムにおける小学校英語科学習指導規準の目標「英語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと等のコミュニケーション能力の素地を養う」の内容を基に構成されている。

本単元では、過去に児童が参加した学校行事を表現するために動詞の過去形が扱われる。これまで、児童は、第5学年次に『夏休みの思い出を話そう』“My Summer Vacation①”において、初めて動詞の過去形に触れている。4つの不規則変化動詞(was, went, saw, ate)、および1つの規則変化動詞(enjoyed)を用いて、それぞれの夏休みの思い出について表現してきた。

また、第6学年では、『夏休みの思い出を話そう』“My Summer Vacation②”において、動詞の過去形を用いてより詳しく夏休みの出来事について表現してきている。こうしたことから、第6学年児童は動詞の過去形を用いて過去に自分が体験したことを表現することにはある程度慣れていていると考える。

第6学年児童は、来年に迫った卒業を前にして小学校教育の総括の段階に入ってきている。この状況において、小学校6年間をふり返り心に残った行事を英語で互いに伝え合うことは、他者の思考を知り自らの行いをふり返るといった意味において価値があると考えられる。また、数ある学校行事の中から最も心に残ったものを自分で選択し、心に残った理由を考え当時の感情を添えて他者へ伝えるという活動は、児童の自己表現することに対する自発性・主体性をもたすことができると考える。

2019年度の英語主任会の研修主題は、「英語を用いて、進んで自分の思いを伝え合う児童の育成～言語活動の工夫を通して～」となっている。すなわち、“進んで自分の思いを伝え合う”姿が児童から見られることが目標となる。

具体的には、進んで＝積極的に自ら、自分の思い＝選択肢の中から単純に選ぶのではなく、自分で過去をふり返って気付いたオーセンティックな想いを教師が取り上げ、それを伝え合えられるようにしたい。どの学校行事が心に残っているか、またその理由は何なのかを既習事項を使いつつ自分で考えることが求められる。

オーセンティックな自分の想いを伝えようとする際に必要となるのが、既習事項を思い出して“考えながら話す”活動である。ここで児童の知識・表現力が問われると同時に、磨かれると考える。

思いを伝え合うには、①表現方法(言語材料)を習得していること、②言いたいことを表現できるある程度の語彙があること、③相手に伝わる正確な発音ができること、④相手の言葉を聞き取ることのできる理解力・受容力があること、⑤会話を継続させるあいづちやくり返し、発言内容の確かめ、内容に関する質問ができることといった5つの要素が必要となる。本単元においては、研修主題の趣旨を踏まえ⑤の要素に焦点を当て指導していく。

また本単元では、言語材料を聞き、話し、見た後に書く活動が設けられている。ここで児童は、聴覚・視覚で十分に慣れ親しんだ表現を文字に置き換えることになる。書く内容は自分で選んだ学校行事であり、自分で考えた理由である。自分で“考えながら話した”内容を文字に置き換えることで、児童は客観的に自らの想いを認知することができるであろう。

以上のことから、本単元をこの時期の児童に設定することは意義があると考えられる。

### 3 目 標

学校行事の言い方を知り、思い出に残っている学校行事や、思い出に残っている理由を伝え合ったり、書いたりすることができる。

### 4 評価規準

	おおむね満足できる状況
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事についての言い方に興味を持ち積極的に声に出して言っている。</li> <li>友だちと尋ね合う活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>過去形や既習表現を使って、伝えてみたいことを考えたり表現したりしている。</li> </ul>
表現の能力（話すこと・書くこと）	<ul style="list-style-type: none"> <li>思い出に残る行事の尋ね方・答え方の表現を使って話している。</li> <li>既習表現を使って、思い出に残る学校行事について話をしている。</li> <li>既習表現を使って、思い出に残る学校行事について書いている。</li> </ul>
理解の能力（聞くこと・読むこと）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事についての英語を聞き取り、答えることができる。</li> <li>十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、絵などを手がかりにして、何が書いてあるかおおよそ分かる。</li> </ul>

### 5 指導と評価の計画

時間	○ねらい (扱う表現)	○主な学習活動 ・支援および留意点	観点 評価項目 (評価方法)
1	○学校行事の言い方を知る (What's your best memory?)	○学校行事の言い方を知る ・最初は日本語でどんな行事が思い出に残っているか尋ねる。たくさん出たところで英語での言い方を確認し練習する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</div> 学校行事についての言い方に興味を持ち積極的に声に出して言っている (観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理</div> 学校行事についての英語を聞き取っている (観察)
2	○小学校時代の思い出を尋ね合う (What's your best memory?) (My best memory is...)	○言語材料を用いて、小学校時代の思い出を尋ね合う ・既習事項を思い出させながら、会話させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</div> インタビュー活動に積極的に取り組んでいる (観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表</div> 思い出に残る行事の尋ね方・答え方の表現を使って話している (観察)
3 (本時)	○小学校時代の思い出とその理由を尋ね合う (What's your best memory?) (My best memory is...) (I went to..., I enjoyed..., I ate..., I saw..., It was...)	○前時の思い出について、具体的に何が思い出に残っているか考え、伝え合う ・思い出を表現できる形容詞を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表</div> 過去形や既習表現を使って、伝えてみたいことを考えたり表現したりしている (観察)
4	○ワークシートに記入し内容を交流する (My best memory is...) (I went to..., I enjoyed..., I ate..., I saw..., It was...)	○前時に考えた内容をワークシートに記入し、内容を発表する ・単調にならないよう、感想をメモさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表</div> 既習表現を使って思い出に残る学校行事について話をしている (観察)
5	○小学校時代の思い出をアルバムにまとめる (My best memory is...) (I went to..., I enjoyed..., I ate..., I saw..., It was...)	○本単元の総まとめとして、思い出をアルバムにまとめる ・言葉だけでなく、絵でも表現させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</div> 既習表現を使って表現したいことを考えている (観察・ふり返りシート) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表</div> 既習表現を使って小学校の思い出の行事について書いている (アルバム)

### 6 指導方針

- 小学校の思い出を伝え合う際に、既習事項の中からどのようなものを使えば良いか考えさせる。また、会話を継続させるジェスチャー、表情、受け止め言葉（あいづち・くり返し）を意識的に入れさせる。そうすることで、児童一人ひとりが「会話が続いた」「もっと話したい」という「できる喜び」を実感できるようにする。
- フォニックス練習を継続的に取り入れることで、発音や英単語の読み方の基礎的なセンスを培う。
- 小中一貫英語力向上プログラムを活用し、9年間を見通した英語コミュニケーション能力の育成を図る。
  - ・英語専科は授業の進行や活動のやり方説明をT1として行い、ALTはT2として正しい発音のお手本を見せるなど、役割を明確に分担する。
  - ・小学校時代の思い出を考えさせる際、最初は日本語を用いてなるべく多くのアイディアを出させる。その後、それを英語でどう言うか、既習表現が無いのか、児童に問いながら確認していく。

- ・単調なパターン・プラクティスに比重を置くのではなく、英語専科とALTで即興的な会話のお手本を見せ、実践できるような会話練習を行う。自然な会話を成立させるためには、次の要素が必要と考えられる。ジェスチャーや表情、アイコンタクトといった非言語コミュニケーション、あいづちやくり返しといった受け止め言葉、これらができるよう普段から指導していく。
- ・最初は、英語専科またはALTから児童へ話しかける形でのSmall Talk練習を行っていく。その後、児童⇄児童で会話が成り立つよう指導していく。
- ・学校行事の英語での言い方を確認した後、児童にその行事の印象を尋ねる。そこで挙げられた印象を形容詞に置き換えて紹介し、会話に取り入れさせる(例: fun, interesting, cool, hard, tired…)

## 7 本時の学習

### (1) ねらい

過去形を使い、思い出に残っている学校行事について、くわしく伝え合うことができる。

### (2) 準備

〔教師〕 学校行事カード、過去形カード、やったことカード、形容詞カード、くり返しカード、言語材料を記した掲示物

〔児童〕 筆記用具、ふり返しシート

### (3) 展開

学習活動	・支援および留意点		時間	観点 評価項目(方法)
	英語専科(T1)	ALT(T2)		
①Greetings Attention, bow. Let's study English! Good afternoon, Mr... 授業開始のあいさつをする。	Let's study English! Good afternoon, everyone.	Let's study English! Good afternoon, everyone.	5	
②Answer 4 questions It's sunny. It's Wednesday. It's October 30th. It's 1:32. 4つの質問に答える。	How's the weather today? What day is it today? What's the date today? What time is it?	・確実に練習させるために、一人ひとり、児童が口を開けて答えているかを観察する。		
③Practice phonics フォニクスをAからZまで練習する。	・より正確な発音に近付けるために、口の形を見せながら真似するように支援する。	・Phonicsカードおよびリズムボックスを使用して練習させる。		
④Small Talk ・既習事項を使った即興的な会話をする。	It's talk time. Today's topic is "What do you want to see (on a school trip)?". ・修学旅行の画像を黒板に貼る。 ・Small Talkの手本を見せ、あいづちやジェスチャーを入れるよう促す。 Let's talk with friends. Make pairs. ・2回目のSmall Talkを進歩させるために、1分間の会話終了後、英語で言えなかったことが無いかを尋ねて、あれば全体に問い返し共有する。 ・Do you like ~?やWhat ○○ do you like?の質問で聞けることが無いか問う。 Let's talk with friends again. ・全体で共有した知識を生かし、もう一度同じテーマで会話する。	Please listen to our conversation carefully.	5	
⑤Watch demonstraion デモンストレーションを見る。	Hi, what's your best memory? <u>(Field trip! That's nice.)</u> <u>(Hotdog! Wow, really?)</u>  My best memory is the sports day.  I enjoyed Soran-bushi. It was hard.	My best memory is the field trip.  I went to the mountain, I ate hotdogs.  I enjoyed camping. It was fun. What's your best memory? <u>(Sports day! Sounds nice.)</u> <u>(Soran-bushi, I see.)</u>	10	
	・リアクションや聞く態度の価値に気付かせるために、1回目のデモでは( )部分を省き、無表情、アイコンタクト・ジェスチャー無しで話し、2回目は( )部分を入れ、表情豊かにアイコンタクト・ジェスチャーをしながら会話する。			

<p>⑥Guess what they say 会話内容を推測する。</p>	<p><b>予想される児童の反応</b> A: 1 番の思い出は何ですか?と聞いていて、チャーリー先生は山に行った遠足でホットドッグを食べ、キャンプをして楽しかった、山田先生はソーラン節を踊った運動会が大変だったと答えている。 →Great, good jobなどと賞賛する。 B: 思い出は何ですか?と聞いていて、フィールド・トリップです、スポーツ・デーですと答えている。 →それって何のこと?チャーリー先生・山田先生はそれの何が思い出?と尋ねる。 C: ワツ・メリー?ベスト・メリー?メリーがどうか・・・。 →メリーってどういう意味だと思っ?と頭に指をかざすジェスチャーを交え問う。</p>			
<p>⑦Check the points and practice デモンストレーションで出てきたくり返しについて確認する。</p>	<p>Mr. Charlie, what is your best memory? Wow, <b>field trip!</b> That's nice. Why I say "field trip" one more time? Why I repeat field trip? (児童: 聞いていることを伝えるため) OK, good! This is くり返し。くり返し is repeat in English. Mr.Charlie, could you practice with students? My best memory is the <b>field trip</b>. OK, let's practice how to repeat. I went to the <b>mountain</b>. (Wow, <b>mountain!</b>) I ate <b>hotdogs</b>. (Wow, <b>hotdogs!</b>)</p> <p>・ <b>キーワード</b>をくり返せばいいことに気付かせるために、「くり返しカード」を提示する。</p>			
<p>⑧Find today's goal めあてを提示する。</p>	<p><b>どんな思い出が心に残ってるか、くわしく伝え合おう</b></p>			
<p>⑨Remember basic sentences and practice 基本文型を復習し、練習する。</p>	<p>Now, let's talk about your best memory with your friends. Last lesson, we learned how to ask. Do you remember? How do you ask to your friends? Yes, "<b>What's your best memory?</b>" And how do you answer to your friends? Nice, "<b>My best memory is...</b>" 上記2つの基本文型をリズムボックスに合わせて練習する。</p>			
<p>⑩Make a platform of sentence and practice やり取りの基本となる例文を作成し、練習する。</p>	<p>What's your best memory? (児童: My best memory is (example)sports day.) ・ 1 人の児童に質問し、その答えを元にして例文を作成していく。 Do you remember "I went to, I enjoyed, I ate, I saw and It was"? ・ 過去形カードを提示しながら問う。 What (Where) did you enjoy/eat/see(go) at (sports day)? ・ 上記のように児童に問い、やったことカードを提示しながら、いくつかの例文を作っていく。 It was...is your feeling. How did you feel at that time? Like, it was fun, it was interesting and so on. Japanese OK...Good, how do you say in English? Does anyone know? ・ 当時の率直な気持ちを表現させるために、気持ちを表す形容詞をまずは日本語で挙げさせ、その後、英語で何と言うか問い返す。 ・ 挙げられた形容詞+αをリズムボックスで練習する (It was fun, It was good...)</p>	20		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>《想定される例文 1》 My best memory is the sports day. I enjoyed marching. It was fun.</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>《想定される例文 2》 My best memory is Oze hiking. I saw a lot of trees. It was beautiful.</p> </td> </tr> </table> <p>OK, this is a good sentence. Let's practice this sentence. ・ 児童の代表的な意見をいくつか取り上げ、それを使い全体でリピート練習をする。 ・ 受け止め言葉を交えながら練習する。 Good. Next, let's make your own sentence. I'll give you few minites. Let's start. ・ 個人で文を考える時間を数分取り、その後個人練習をさせる。 Now, let's talk in pair. Make pairs. ・ ペアで練習させる。模範的なペアを探しておく。</p>	<p>《想定される例文 1》 My best memory is the sports day. I enjoyed marching. It was fun.</p>	<p>《想定される例文 2》 My best memory is Oze hiking. I saw a lot of trees. It was beautiful.</p>	
<p>《想定される例文 1》 My best memory is the sports day. I enjoyed marching. It was fun.</p>	<p>《想定される例文 2》 My best memory is Oze hiking. I saw a lot of trees. It was beautiful.</p>			
<p>⑪Watch good example 良いお手本を見て学ぶ。</p>	<p>(学習到達度ごとの支援の手立て) バ<sup>1</sup>A: Great! あいづち等がたくさん入っているね。次は英語らしいリズムを意識して話してみよう。 バ<sup>1</sup>B: あいづち等が入られていたね! もっと自然に言うには、感情を込めるといいよ。 バ<sup>1</sup>C: 何て聞くんだったかな。そう、What's your best memory? My best memory is...だったね。</p> <p>・ まず、ジェスチャーやあいづち、表情の無い”悪い例”をT1/T2がデモで示すことで、良くない点に気付かせる。その後、良いやり方ができるペアを募る。 Now, we are going to do demonstration. Watch us carefully. OK, let's start. What is your best memory? ...</p>			

<p>⑬Practice again もう一度練習する。</p>	<p>...What do you think? Good or bad? Yes, it's bad. Why? Japanese OK. Good, it's not happy. Can anybody do happily? ・模範的なペアを1組、前でデモンストレーションさせる。 Good performance! Everybody, give them big claps. What is the difference? What is good points of this pair? Japanese OK. ・ペアの良い点(悪い例と比較しての)を挙げさせる。 ・会話を継続させるための工夫ができていて点が挙げたら、発言を認め賞賛する。 Now, you know how to talk happily. Let's do it again. ・模範的なペアの良い点をふまえて、再び会話に取り組む。</p>	<p>中間評価</p>	<p>表 過去形や既習表現を使って、伝えたいことを考えながら話している(観察)。</p>
<p>⑭Write feedback sheet ふり返しシートに記入する。</p>	<p>・より記憶に残るよう、本時に何を学んだかを具体的に書くよう指示する。</p>	<p>Please fill in the blank with what you study today.</p>	<p>5</p>
<p>⑮Finish the lesson Goodbye, Mr... 授業終了のあいさつをする。</p>	<p>That's all for today, goodbye everyone.</p>	<p>Goodbye class, see you!</p>	<p>5</p>

## 8 参考資料

[板書計画] [ワークシート]

